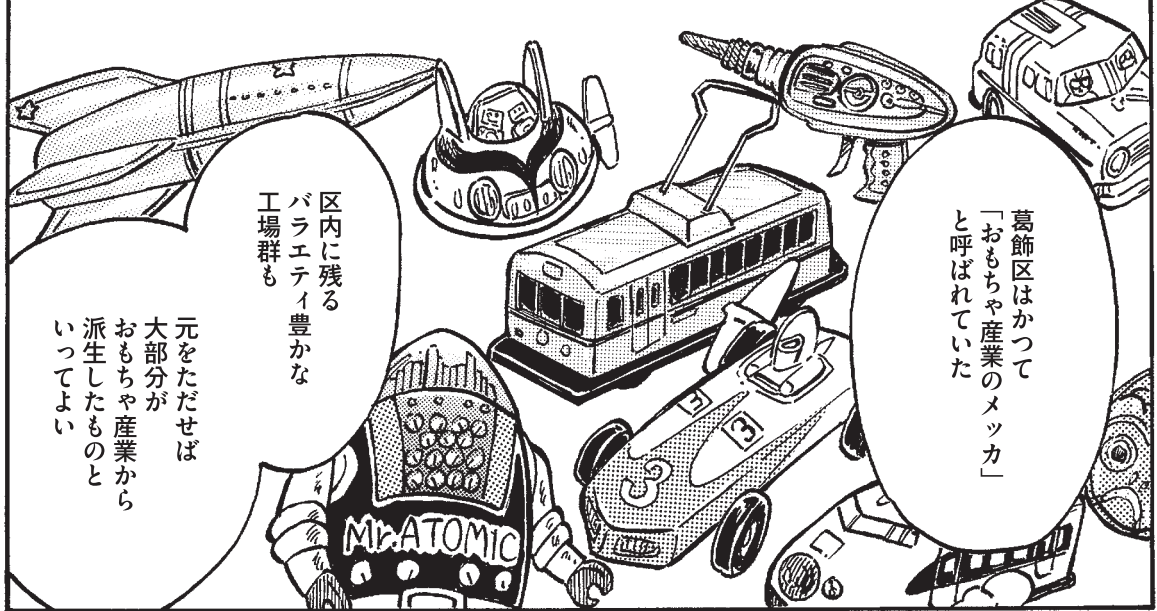
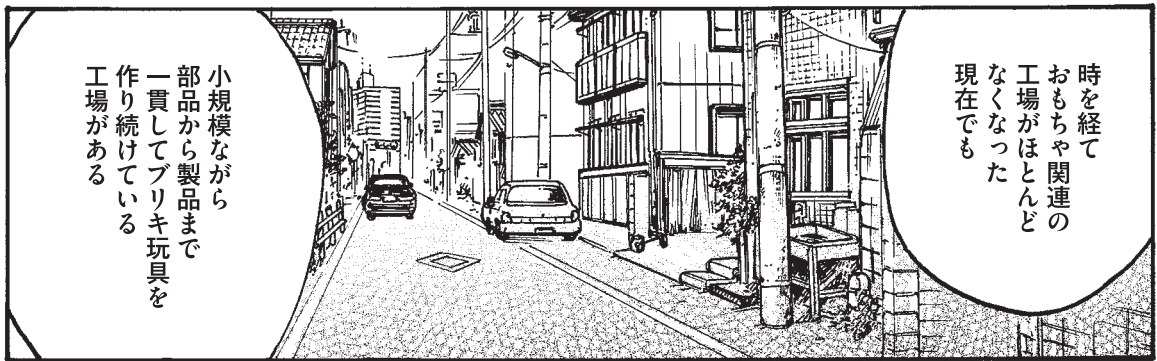




葛飾区はかつて
「おもちゃ産業のメッカ」
と呼ばれていた

区内に残る
バラエティ豊かな
工場群も

元をただせば
大部分が
おもちゃ産業から
派生したものと
いってよい



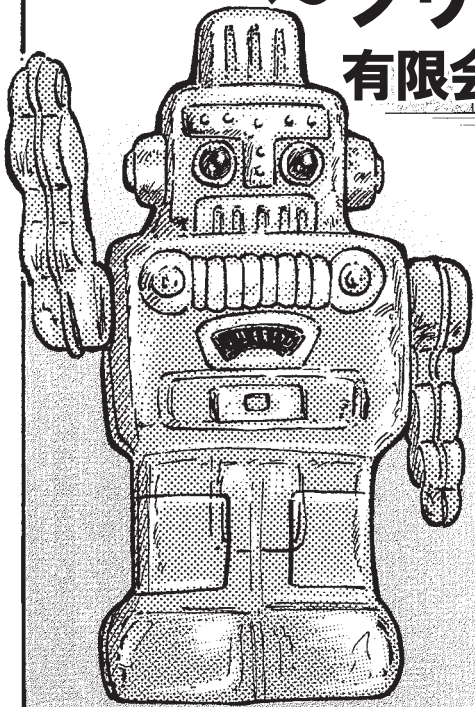
時を経て
おもちゃ関連の
工場がほとんど
なくなった
現在でも

小規模ながら
部品から製品まで
一貫してブリキ玩具を
作り続けている
工場がある

まちこうば
葛飾ブランド「葛飾町工場物語」

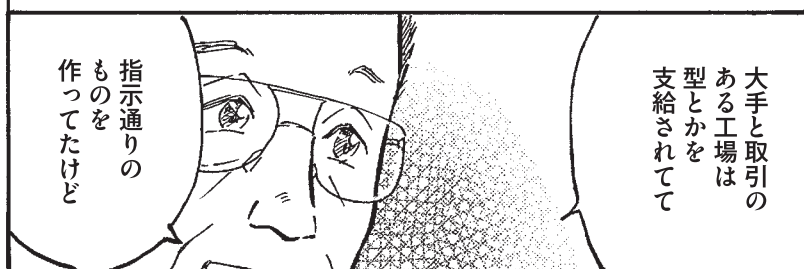
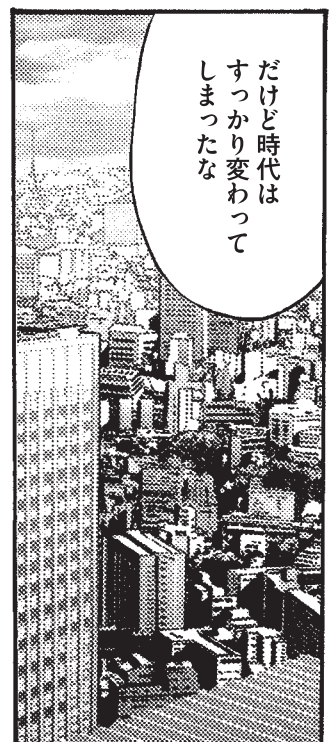
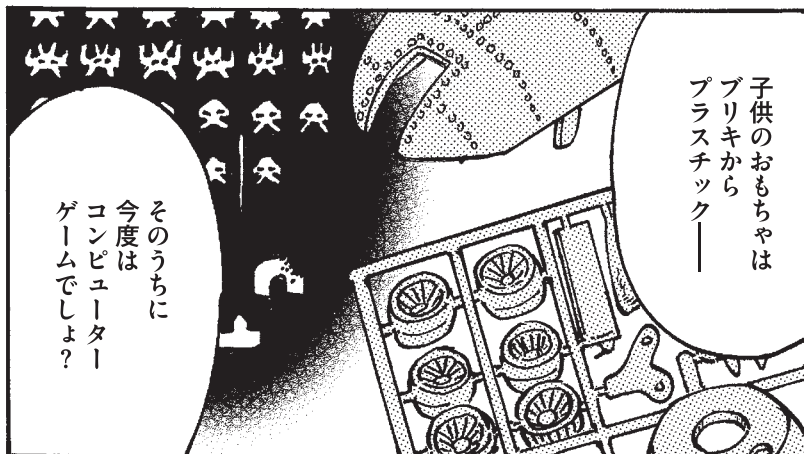
『おもちゃの葛飾』未だここにあり ～ブリキのおもちゃ～

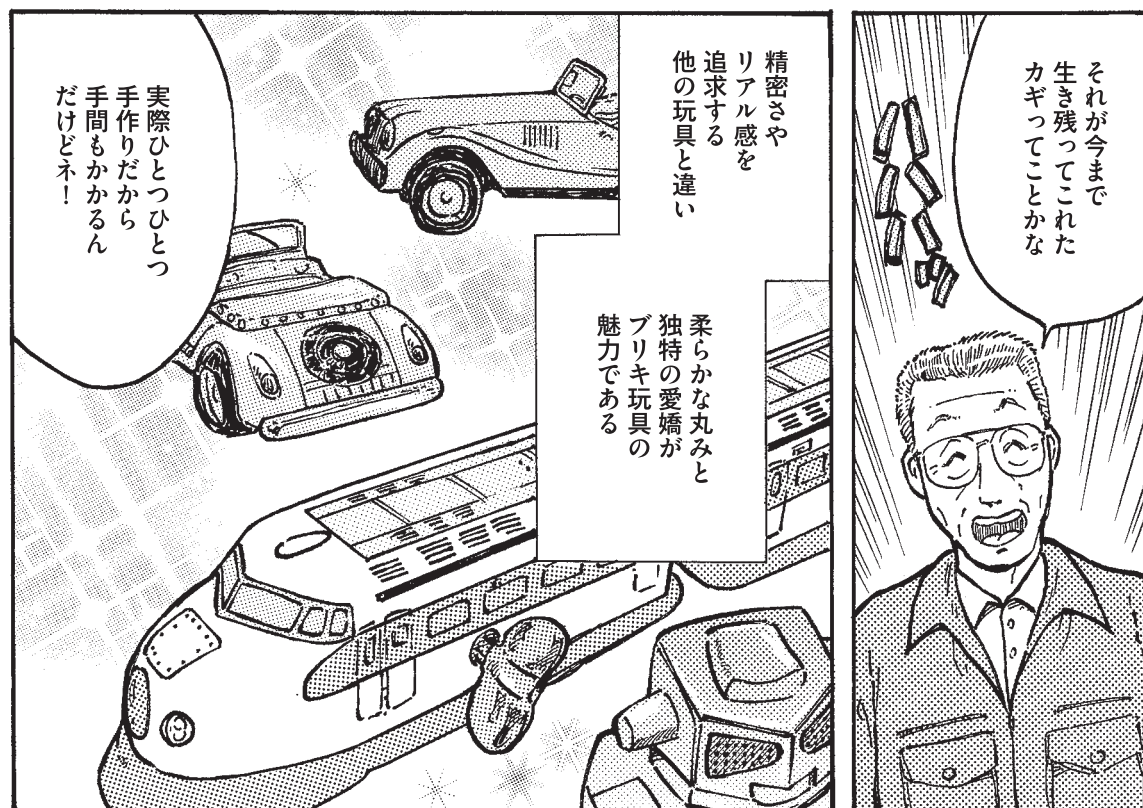
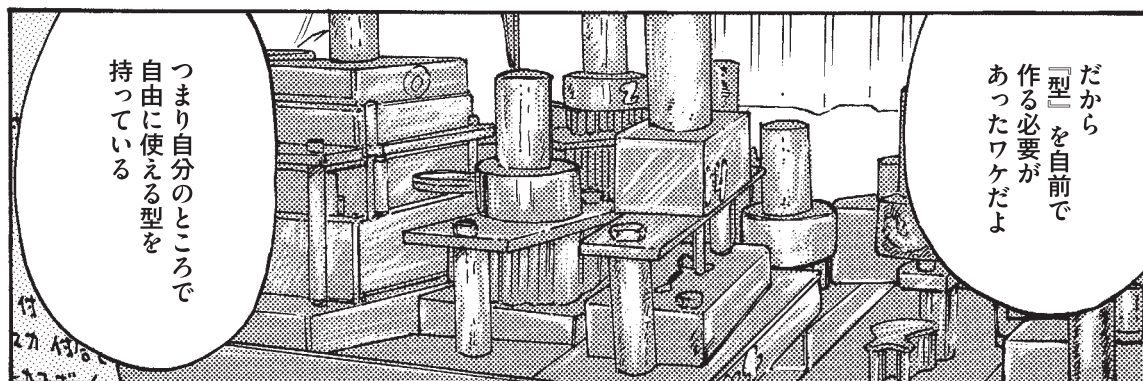
有限会社 三幸製作所

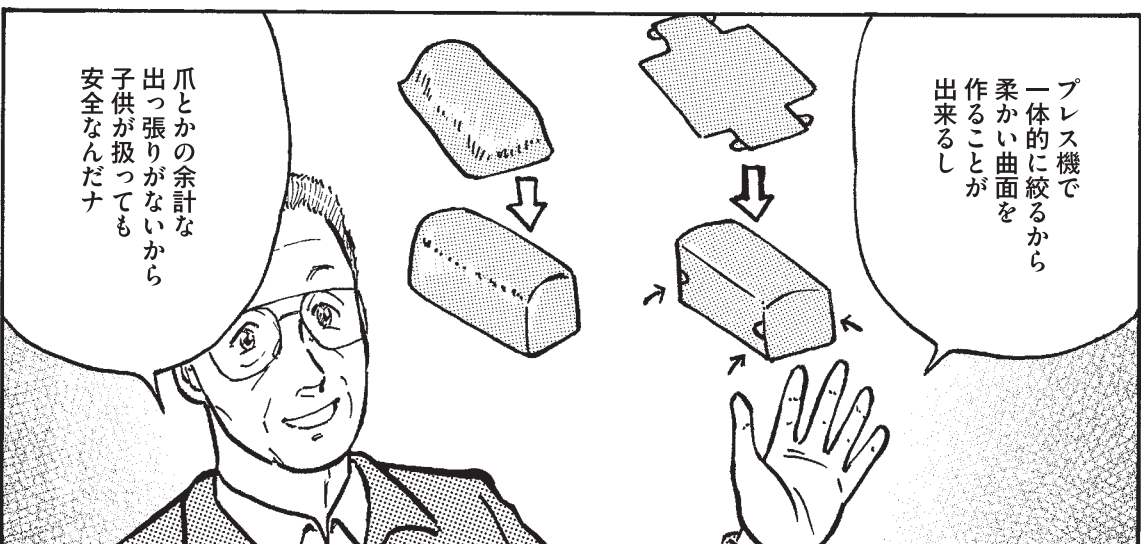
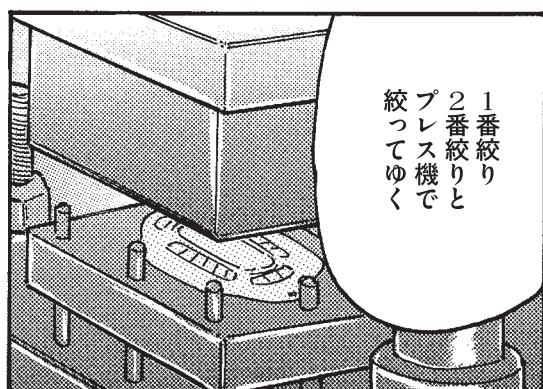
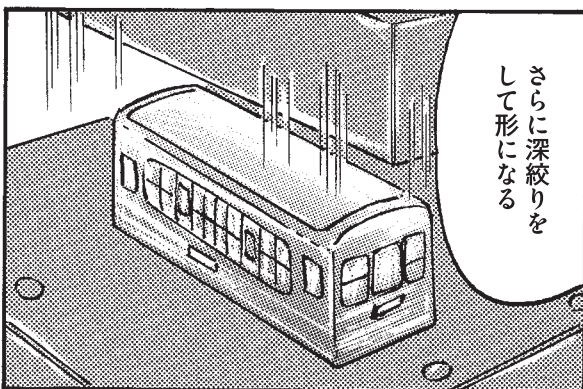
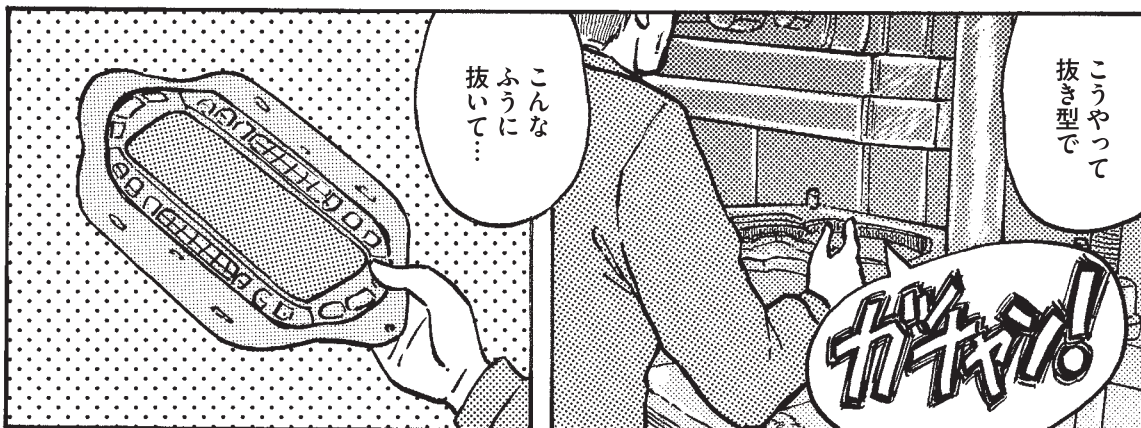
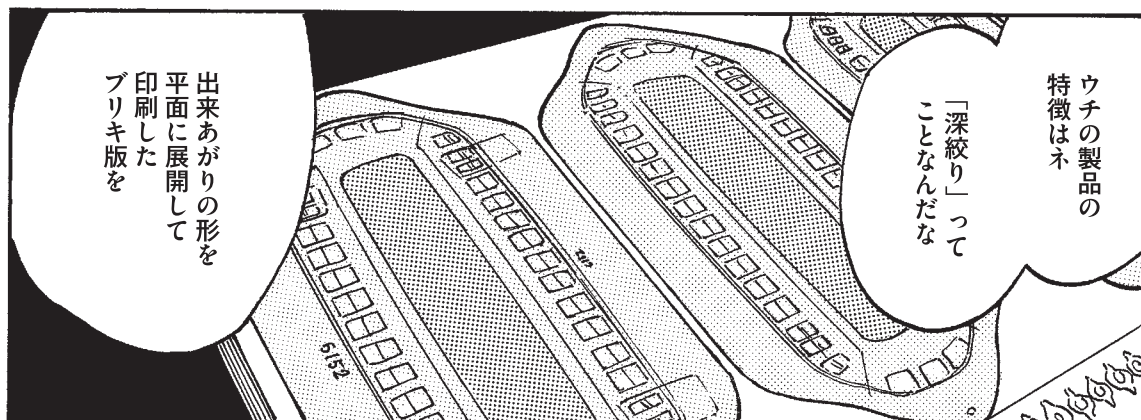


作・たなか よしみ

有限
会社
三幸
製作
所







でも——
その深絞り
ならではの
難しさも
あるんだよ

たとえばこういう
電車なんかで
車体をぐるりと
直線が描かれている
場合……

プレスで歪みが
出るから

車体の角の
線が歪んで
しまうんだな

この歪みを
できるだけ
少なくするために

ブリキ版上の
展開図を
描き直したり

プレスの圧力を
微調整したり
するんだよ

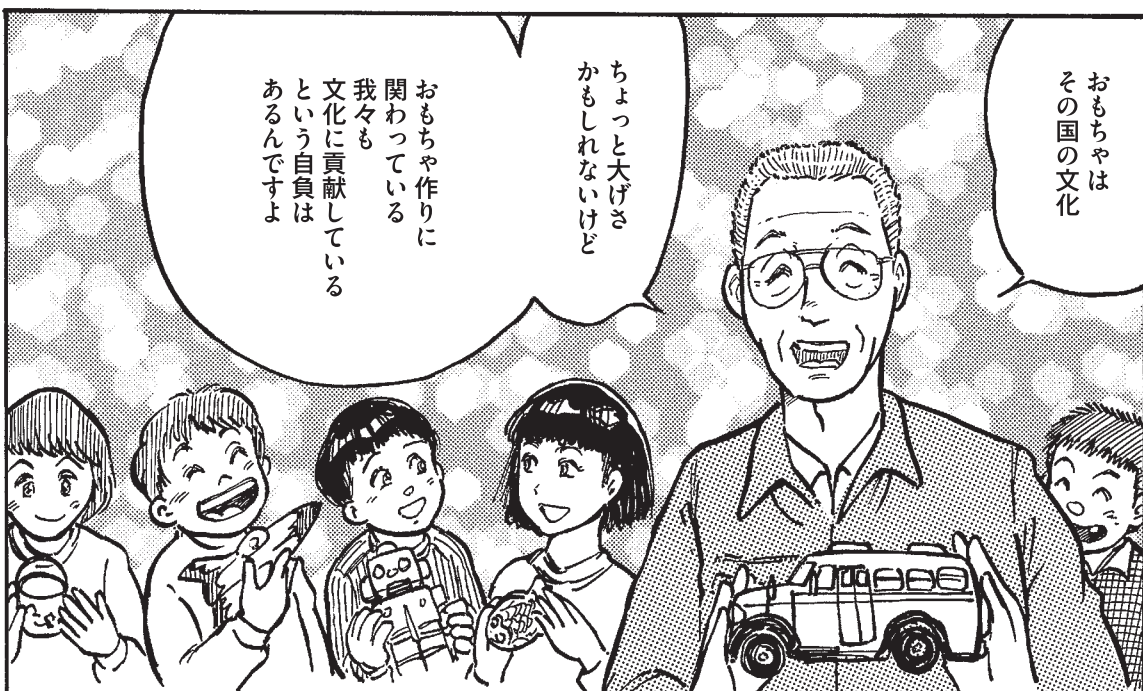
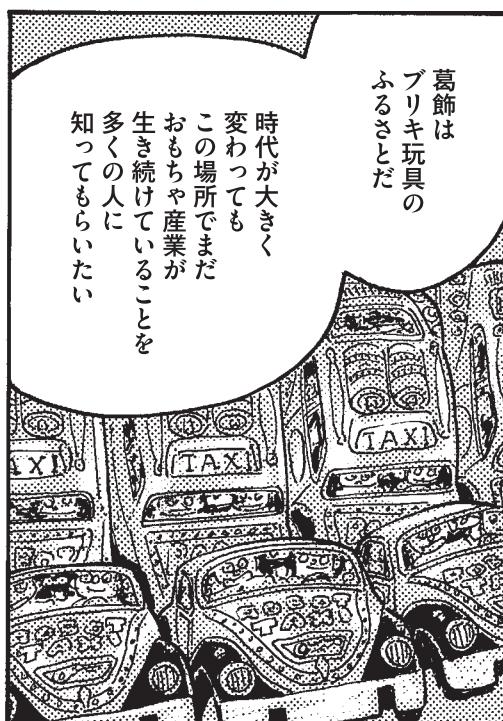
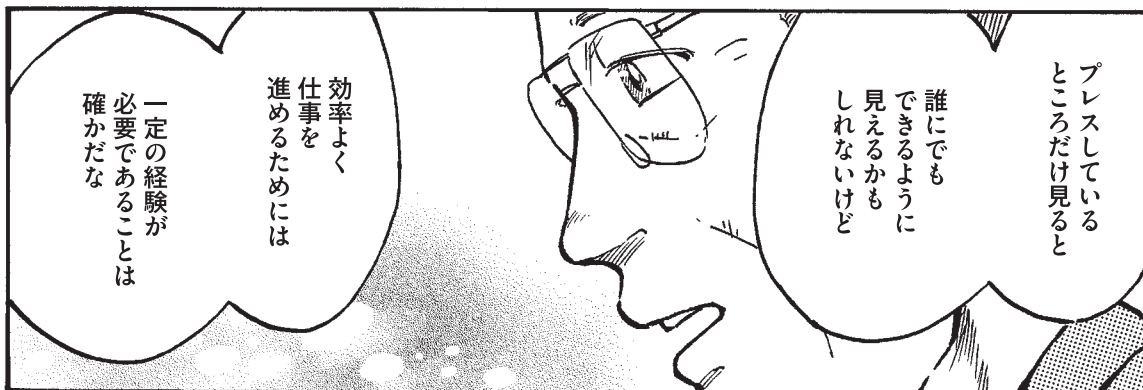
ブリキのおもちやの
魅力のひとつの
鮮やかな色彩も

プレスする
ことによって
元の印刷とは
色が変わって
しまうんだね

長い経験から
色合いのおよその
変化は予想
出来るけど

出したい色に
近づけるためには
何度も微調整を
繰り返すんだよ

カチャン



KATSUSHIKA
町工場物語

認定

有限会社 三幸製作所

「おもちゃの葛飾」
未だここにあり
ブリキのおもちゃ



認定品名

ブリキ玩具



プレス機による絞り工程。熟練の技で、安全性の高い柔らかな局面を作り出す

自動車や電車、バス、ロボットやロケットなどさまざまなブリキ玩具を製造販売している。深絞り加工によって得られる柔らかな丸みと独特の愛嬌が魅力だ。「メイド・イン・ジャパン」にこだわり、一部を除き純国産の材料や部品を使用しているほか、印刷には無鉛のインクを使用し、ケガをしやすき爪などの折り曲げ部を極力無くすなど、安心・安全への配慮も行き届いている。なお、小売りは行っていない。

有限会社 三幸製作所

所在地：葛飾区東四つ木4-48-8

電話番号：03-3697-0462

代表：柳沢徳三

業種：金属玩具製造

従業者数：6名





「おもちゃ産業のまち」葛飾で唯一 ブリキ玩具製造を続ける工場

葛飾区は、かつて「おもちゃ産業のメッカ」として全国に名を馳せた。現在区内に残るバラエティ豊かな工場群も、元をたせば大部分はおもちゃ産業から派生したものであるといつてよい。時を経て、おもちゃ関連の工場がほとんどなくなった現在でも、小規模ながら部品から製品まで一貫してブリキ玩具を作り続けている工場が(有)三幸製作所である。

独特の「暖かみ」がブリキ玩具の魅力

自動車や電車、バス、ロボットやロケットなど当社の商品構成は多岐にわたっているが、精密さや本物度を追及するものではなく、柔らかな丸みと独特の愛嬌が魅力の商品ばかりである。純国産という希少性とレトロな感じだけがウリというわけではなく、現代でも通用するしつかりした魅力も備えている。ブリキ玩具の魅力について、柳沢社長(71歳)は「ブリキ玩具には、プラスチック製などにはない暖かみがある。実際、ひとつひとつ手作りだから、手間もかかる」と語る。

「深絞り」ならではの柔らかな曲面

(有)三幸製作所の製品の技術的な特徴は「深絞り」にある。絞りを行わず折り曲げる製法では、全般的に角張った形態となり、接続

部が剥がれるなどして、使用者を傷つける可能性がある。当社ではプレス機で深絞りを施すことにより、柔らかな曲面を表現することに成功している。また、電車などのおもちゃでは、ブリキ製の車体部とプラスチック製の車台部を接続するために、前後2ヶ所の爪を折り曲げるが、その他には折り曲げは使用しない。このため、子どもが扱っても安全である。

メード・イン・ジャパン、

メード・イン・カッシカへの強いこだわり

(有)三幸製作所では、純国産であることにごだわり続けている。「国産の材料や部品をみんなが使えば、日本のものづくりを支える力になるはず。安心・安全の面でも国産は優れている」。インクは以前よりインク会社の努力で無鉛化が果たされているし、使用上の安全性には、前述のように最大限の努力を図っている。

また、メード・イン・カッシカであることにも強くこだわっている。「葛飾は玩具のふるさとだ。時代が大きく変化した現在になっても、この場所でもまだおもちゃ産業が生き続けているのだ」ということを多くの人に知ってもらいたい。(有)三幸製作所では、最近になって製品の箱に、「葛飾工場 Made In Japan」の文字を記すようになった。

おもちゃ作りは文化への貢献

「おもちゃで遊ぶことにより、子どもはさまざま

な事を感じ、考え、学習していく。人が成長するためには不可欠なものであるといえる。現代では、あらゆるものが手に入りやすくなった。それは喜ばしいことであるといえるが、ブリキ玩具を子どもから大人までの方に利用していただき、プラスチック成型品では得られない何かを新たに感じ取ってもらえる可能性があるはずだ。子どもの成長に寄与するという点で、おもちゃはその国の文化であり、やや大げさだが、おもちゃ作りに関わっているわれわれも文化に貢献しているという自負はあると語る柳沢社長。活力のある声と青年のような身のこなし同様、年齢70を超えても、ブリキ玩具に対する想いは衰えを知らない。

レトロな風合いと不思議な
愛嬌。すべて柳沢社長の
オリジナルデザイン

